



# アフリカの紛争と平和構築

---

武内進一  
(アジア経済研究所)

# 現代のアフリカ国家 (1997年6月現在)



( )の数字は独立年, 1900年代

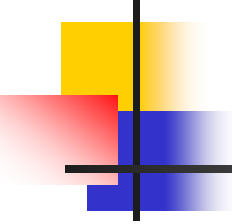
(10/61/94) レソト (66)



# 我々はアフリカで、どんな紛争に 直面しているのか？

---

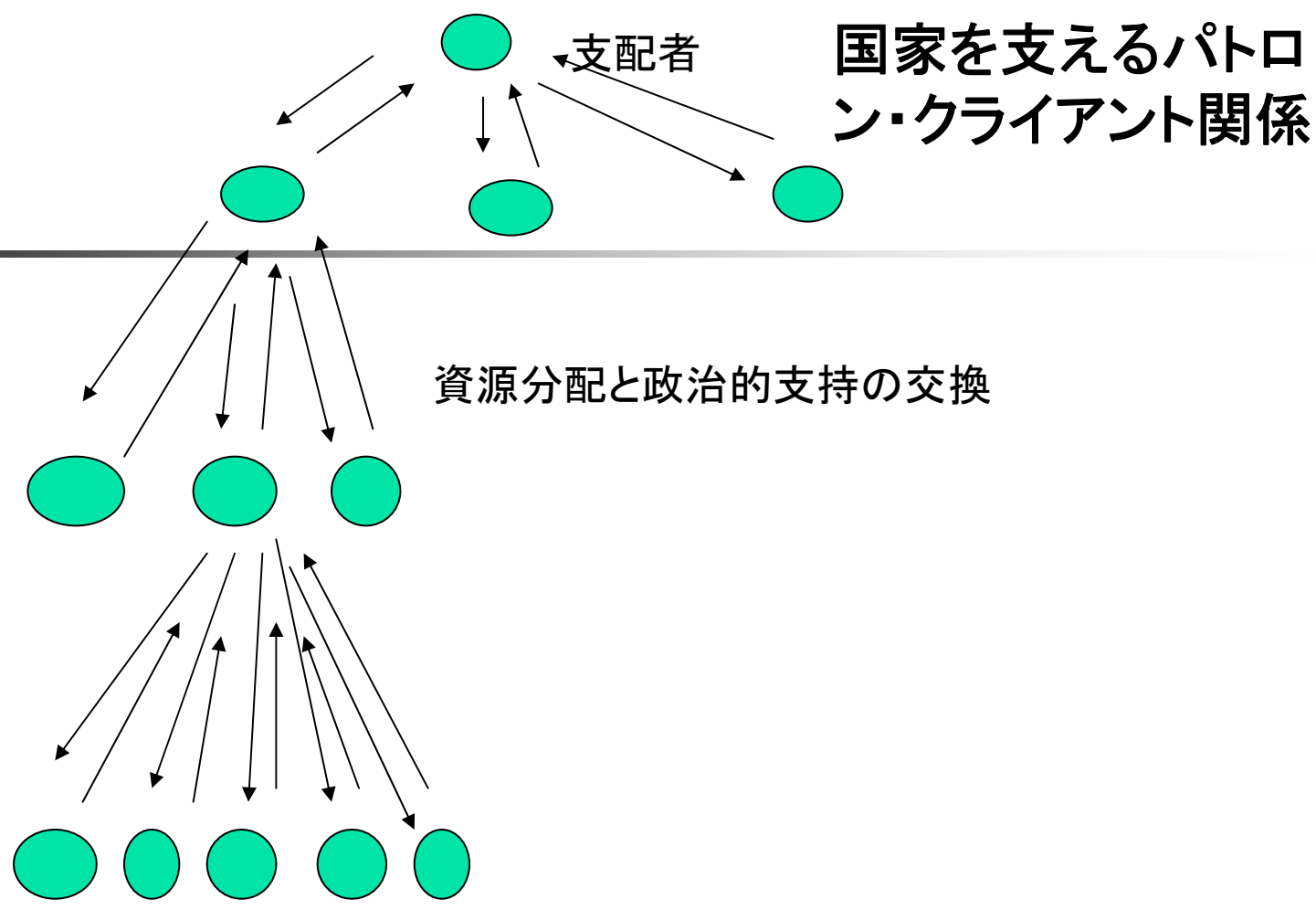
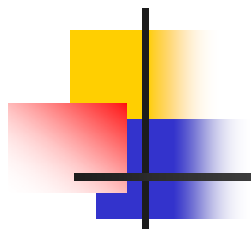
- 冷戦終結後、紛争の特質
  - 1990年代(特に前半)に深刻な紛争が頻発
  - 紛争の「大衆化」
  - 紛争の「民営化」
- 国家の破綻



# 1990年代に破綻をきたしたアフリカの国家とは何であったか？

---

- 冷戦期のアフリカ国家をめぐる議論
  - 家産制的な性格
    - 「朕は国家なり」、支配者とその取り巻き
  - 暴力的な性格
    - アミン、ボカサ、モブツ
  - 国際関係によって支えられる
    - 冷戦体制



(講師作成)

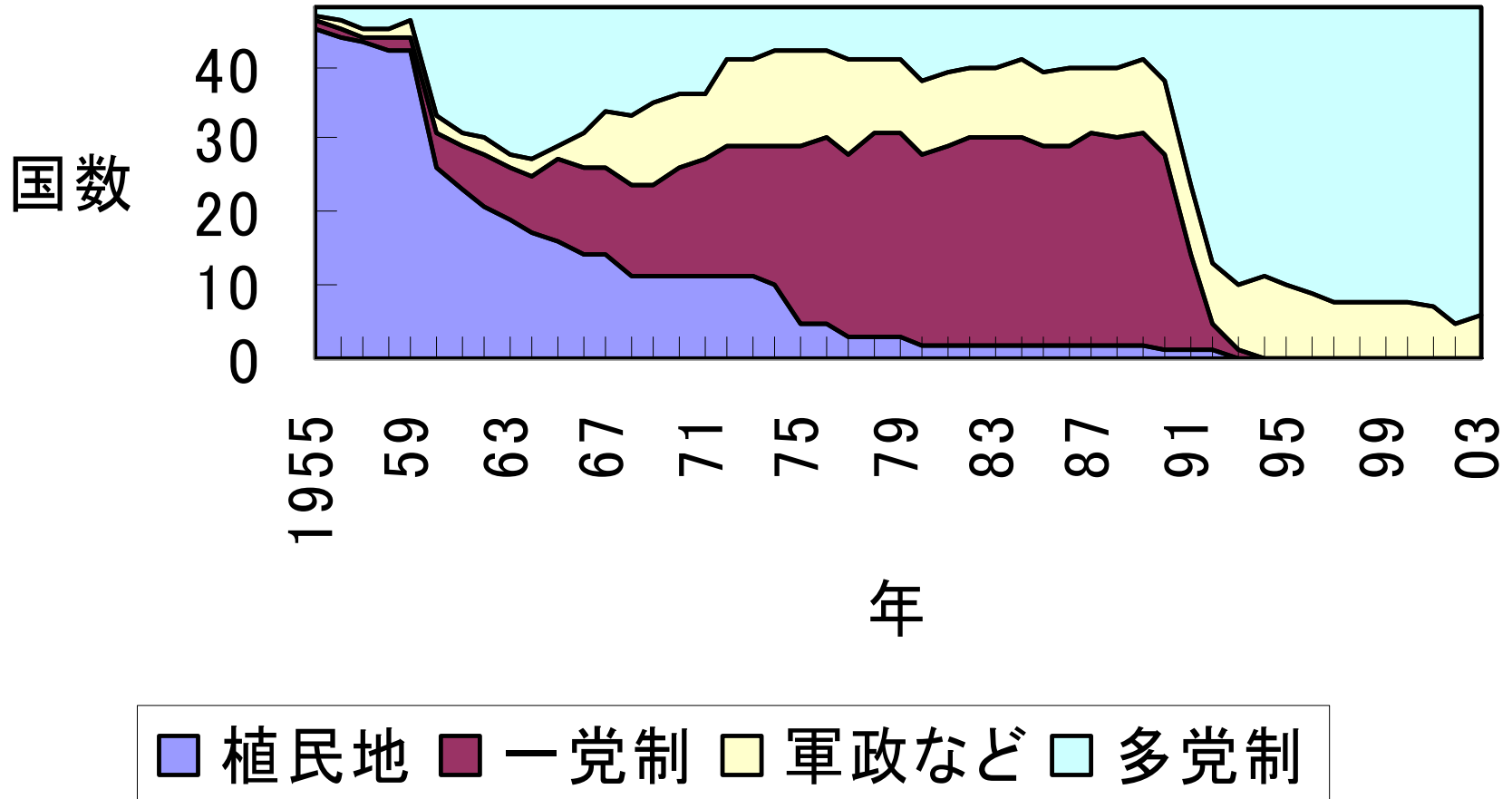


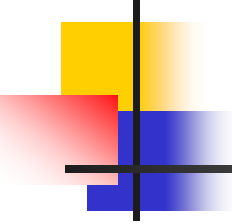
# なぜ1990年代に破綻したのか？

---

- アフリカの国家を揺るがす3つのインパクト
  - 経済危機
    - 年平均GDP成長率：1975-84年 2.32%  
1985-94年 1.69%
    - 経済危機の政治的要因
  - 経済自由化
    - 構造調整政策：国有企業民営化、規制緩和、etc.
  - 政治的自由化
    - 冷戦終結と援助政策の変化

# 第1図 アフリカ諸国の政治体制の変化





# なぜ1990年代にアフリカで紛争が頻発したのか？

---

- 従来、アフリカ国家を内側から支えていたパトロン・クライアント・ネットワークが、3つの衝撃を受けて脆弱化し、それによって統治が不安定化したことが重要な要因。
- 政治権力闘争のなかで、パトロン・クライアント・ネットワークを通じて「民族」が動員された。



# 紛争の要因分析から言えること

---

- ガバナンスの重要性
  - 冷戦期のアフリカ国家の特徴が、その後の紛争の特質を形作った。



# 1990年代後半から、 紛争が収束する傾向

---

- 国際社会の介入が紛争収束に貢献
  - 和平交渉
  - 人道的介入、緊急援助
  - 制度構築
  - 国民和解
  - 経済復興
- 介入の多様化、複雑化と国連平和構築委員会



# どんな介入がなされているか？

---

- リベラル・デモクラシーの移植
  - 競争的選挙に基づく立憲主義
  - 自由市場に基づく資本主義経済
  
- 西側先進国と同じシステムの導入により、平和の定着を図る。



# 直面する課題は何か？

---

- 施策のマニュアル化
  - 競争的選挙の実施が解決策となるか？
- 国家主権をめぐる問題
  - 国際社会の意思に反する国家主権
    - スーダン、ジンバブウェ
  - 国際社会を引きずり込む国家主権
    - DRコンゴ、チャド、
- 「安定」と「ガバナンス」のジレンマ